

かわのえ

いんぽかん 隣保館だより

四国中



しこくちゅうおうし
四国中央市

じんけん どうわきょういくけんきゅうたいかい
人権・同和教育研究大会

が
10月
ご号

ねん がつ ほんごう
2017年10月発行

かわのえりんぽかん
川之江隣保館 

TEL 28-6254

FAX 28-6254

かわのえしきじがっきゅう - 川之江識字学級 -

8月17日木曜日に四国中央市人権・同和教育研究大会（社会教育部）が開
催され、川之江識字学級の生徒さん二人が発表しました。

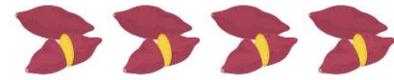
川之江識字学級は、平成24年「子どもが来年1年生になるが、日本語の読み書
きができないので、学校から配られるプリントが読めない。助けてほしい。」と
フィリピン出身のお母さんから運動団体の方に相談があったことから始まり、
運動団体と市が協力して川之江隣保館でスタートしました。

識字学級には、ボランティアの先生が文字の読み書きを教えたり、幼稚園の先
生や保育園の保育士の皆さんが、学ぶ生徒の子ども達と託児室で遊んだりして、
学びやすい環境を作っています。（裏面に続く）



かつ
10月

ぎょうじよてい
行事予定



日(にちようび)	月(げつようび)	火(かようび)	水(すいようび)	木(もくようび)	金(きんようび)	土(どようび)
1	2 ちよきんたいそ ・貯筋体操(ひまわり)	3 たいきよけん ・太極拳	4 ちよきんたいそ ・貯筋体操(スイートピー) しゅげいきょうしつ よる ・手芸教室(夜)	5	6	7 しゅげいきょうしつ ひる ・手芸教室(昼)
8	9 たいいく ひ 体育の日	10	11 ちよきんたいそ ・貯筋体操(スイートピー) じんけん ひ がくしゅうかい ・人権の日学習会	12	13 きつさ ・ふれあい喫茶	14 きゅうじつかいかん ひ 休日開館日 しきじがつきゅう ・識字学級
15	16 ちよきんたいそ ・貯筋体操(ひまわり)	17 たいきよけん ・太極拳	18 ちよきんたいそ ・貯筋体操(スイートピー) しゅげいきょうしつ よる ・手芸教室(夜)	19	20 しよくごうそらだん ・職業相談	21
22 きゅうじつかいかん ひ 休日開館日 しきじがつきゅう ・識字学級 せいめいそんちようどくしよかい ・生命尊重読書会 じへいしよはったつしよが ・自閉症発達障害 しえんがくしゅうかい 支援学習会 ・キッズプラス	23 ちよきんたいそ ・貯筋体操(ひまわり)	24 たいきよけん ・太極拳	25 ちよきんたいそ ・貯筋体操(スイートピー) しゅげいきょうしつ ひる ・手芸教室(昼)	26	27	28
29 から おけきょうしつ ・カラオケ教室	30 ちよきんたいそ ・貯筋体操(ひまわり)	31 たいきよけん ・太極拳				

☆☆☆☆ だい かい じょせいりょうりきょうしつ がつ にち とようび
第3回 女性料理教室 (9月9日 土曜日) ☆☆☆☆

だい かい じょせいりょうりきょうしつ めい みな がっこうきゅうしょく
第3回の女性料理教室は、13名の皆さんと学校給食のメニューか
りょうり ちょうり ようす かんせいしゃしん りんぼかん しょうかい
ら料理を作りました。調理をしている様子や完成写真を隣保館で紹介
ていますので、隣保館にも遊びに来てください。

〈おすすめメニュー〉

さけ や
鮭のマヨネーズ焼き (2人分)

ざいりょう
○材料

- | | | |
|---------|---|--------|
| さけ | — | き |
| ・鮭 | — | 2切れ |
| しお | — | しょうしょう |
| ・塩・こしょう | — | 少々 |
| ・コーン | — | おお |
| | — | 大さじ4 |
| ・マヨネーズ | — | おお |
| | — | 大さじ3 |

つく かた
○作り方

1. 鮭の切り身全体に塩・こしょうをふっておく。
2. コーンとマヨネーズを混ぜたものを鮭の上に乗せる。
3. クッキングシートを敷き、鮭を乗せオーブンで10～15分焼くと完成。
4. 焼き目をつけたい場合は、さらにグリルモードで焼き色がつくまで回す。



じんけん ひ がくしゅうかい さんか
「人権の日学習会」にご参加ください。

まいつき にち じんけん ひ がくしゅうかい
毎月11日の人権の日に学習会をしています。
きがる さんか
お気軽にご参加ください。(19時30分～21時)

さんか
○だれが参加しているの？

さんか だれ じゅう さんか
参加したいときに、誰でも自由に参加できます。
もう こ
申し込みはいりません。

はな
○どんなことを話しているの？

どうわもんだい じんけんもんだい
同和問題をはじめ、あらゆる人権問題につ
さんかしゃ し
いて参加者が「知りたいこと」「やってみたい
こと」を話し合っ
はな あ がくしゅう ないよう き
て学習の内容を決めています。

い
○どこへ行けばいいの？

かわのえりんぼかん
川之江隣保館にいらしてください。

がつ にち すいようび
10月11日 (水曜日) の
じんけん ひ がくしゅうかい
人権の日学習会は、
どうわもんだい
同和問題をテーマとした
ビデオを見た後に、小グ
グループに分かれて感想や
いけん だ あ さべつ な
意見を出し合い、差別を無
くしていく為に「自分にで
きること」、「どう行動し
ていくか」をかんが かくしゅう
考える学習
とします。
けいはつ
《啓発ビデオ》
「そんなの関係ない。」

～伝える思い～

《川の江識字学級の発表から》

発表したのは、高木 東紅さんと李 ハナさんでした。

高木さんは、仕事で来日し日本人と結婚して川滝町に住んでおり、これまでに保育園の保護者会長や小学校PTA副会長などをされてきました。

李さんは、小さい頃から日本が好きで同じ韓国人と結婚し、お互いが大好きな日本での仕事を選び妻鳥町に住んでいます。

発表の中で、二人に共通するこれまでに難しかったことは、「病院」のことでした。高木さんは、出産のときに病院で聞いたことのない専門用語がたくさんあり、何を聞かれているのかも分からないことに困りました。

李さんは、日本に身内がないので、二人目の子どもが生まれ間もない時に、上の子どもが病気で入院しなくてはならなくなり大変苦労しました。

また、子どもを連れて幼児クラブや川の江にこにこルームなどに通いママ友ができたことで、日頃の悩みを相談し、解決策を教えてもらえました。

川の江識字学級で学ぶようになって良かったことは、他の国の人と友達になれたことです。そして文字を学んだことで学校の参観日の感想やアンケートに積極的に書き込み、子ども達や大勢の保護者の前でも、考えを伝えることができるようになったことが本当に嬉しいそうです。

また高木さんは、これまでお世話になってきた地域のために、これからも地域活動をしていきたいそうです。

最後に李さんが、『自分達は韓国人同士で結婚しています。これから子どもが「周り」と苗字が違う、名前が違う」ということに気づきますが、自分の国籍をしっかりとってほしい。皆さんにお願いします。外国人に対する偏見を持たないでください。子供を思い、愛する気持ちは、どこの国の母親も同じです。これから子ども達が自分の国籍のことで差別されないことを信じています。』と思いを語られました。

私は、4月に識字学級の生徒さんと出会いました。皆さん明るく、積極的に日本語や文化を学んでいます。識字学級の良いところは仲間作りだということを感じています。お互いを知り、理解するという事は、同和問題をはじめあらゆる差別の解消に必要なことだと考えています。

主事 藤田 啓介